

## 「ブナ林再生」育樹ボランティア活動を支援

下北森林管理署

平成24年10月23日(火)に、むつ市佐藤ヶ平地区の葉色山国有林で、NPO法人森林・環境サポート大畑、むつ市大畑町林業振興対策協議会、フォレストボランティア員及び下北森林管理署の30名が協働でブナ幼齢林の保育作業を行いました。

当該ブナ林は、かつての採草放牧地であり、平成12～13年にササ地化した跡地にブナを植栽しましたが、雪害、風害、野兎食害及びササとの競合により、植栽木の生育が遅い状況にありました。

こうした中、地域の住民・NPOの皆さんがボランティアで故郷のブナ林を早期に再生したいとの要望に応え、平成19年から、雪害・獣害対策の支柱・ツリーシェルター設置・修理やブナの成長状況観察等を協働で行っているものです。



今年度は、5年経過したボランティア活動の効果により、成長良好なブナも確認できるようになったことから、森林総合研究所東北支所に助言を仰ぎ、従来の支柱設置・修理主体の作業から、個々のブナの成長状況に合わせた支柱本数の減やツリーシェルターの一部カット等の作業に力を入れるとともに、要補植箇所の確認などを行いました。



当日は、風雨の空模様でしたが、むつ市大畑流域の豊かな水資源の一助となることを願いながら、参加者全員が一生懸命作業に取り組み、事故なく作業を終えました。